

指標 8.6.1

指標名、ターゲット及びゴール

指標 8.6.1 就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない15～24歳の若者の割合

ターゲット 8.6 2020年までに、就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない若者の割合を大幅に減らす。

ゴール 8 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する

定義及び根拠

- 定義
15～24歳の人口に占める就学していない非労働力人口の割合。
- 概念
就学していない非労働力人口は、非労働力人口（家事）と非労働力人口（その他）の合計。
- 根拠及び解釈
職業訓練に従事している者の数は不明であるため、類似として「就学していない非労働力人口」を使用する。

データソース及び収集方法

労働力調査（基本集計）

算出方法及びその他の方法論的考察

- 算出方法
$$\frac{15\sim 24\text{歳の人口に占める就学していない非労働力人口}}{15\sim 24\text{歳の非労働力人口（家事）} + \text{非労働力人口（その他）}}$$
$$15\sim 24\text{歳人口}$$

労働力調査（基本集計）I-2表より取得可能。

○ コメントと限界

職業訓練に従事している者を識別出来ない。また、分子には完全失業者は含まれていない。

データの詳細集計

男女別

参考

<https://www.stat.go.jp/data/roudou/index.html>

データ提供府省

総務省

関連政策府省

厚生労働省

担当国際機関

国際労働機関 (ILO)